

Series25
オーディオ
つれづれの記

「良き音 良き音楽 良き仲間」
思い出すこと など

脇田隆夫
1998年9月入会

深夜 ベッド頭のクリスタルイヤホンから流れる音楽は爽やかだった。
朝には外れて転がっていたが・・
中学一年生 鉱石ラジオ製作は案外簡単だった。
今から70年前、これがオーディオと音楽への入り口。

味を占めて中一の夏休みに高1ラジオに挑戦。配線図を見ながら組みあがったがウンともスンとも言わない。近くのラジオ屋に持ち込んだところ、真空管の位置は裏側から見のだよと教わった。実態配線図なんか当時はなかったのだからシャシーは部品でいっぱい。
何とか音が出た時の感激。

携帯ラジオも作った。1T4真空管を筆箱に入れて何とか作り上げ、友達に見せたが微かな音量だった。

中二(S30)の時LPプレーヤーを作って貰った。アカイのC-5モーター プリモのターンオーバー型クリスタルピックアップ。明解な音でした。

沢山の友人からSPレコードを頂く、ワルターの田園もあった。中学では放送部、なんと無響室スタジオが丁度作られた時で驚いた。先生にも可愛がられ出入り自由。理科の担当で分かり易い授業の名教師だった。

高校に入るとバスレフの箱を海軍で潜水艦乗りだった腕の良い隣の大工さんに作って貰う。ラワン板でスピーカーはパイオニアPE8B。

5級スーパー製作の依頼が次々と、更にLPプレーヤー製作と接続が加わり 忙しいこと・・お礼でお小遣いも出来た。

最初に買ったLPは鶴見オデオン堂・・今でもある・・で運命&未完成/セル・クリーブランド。
きりりとした演奏と音質。何度聴いたことやら。

やがてお決まりのグレードアップ・・グレースF-3カートリッジ+グレースのオイルダンパームに。

学校の帰りには友人が実によく来てくれた。LPを聴いて、当時に庭にあった卓球台でピンポンをして紅茶とお菓子。何時も面倒見の良い母でした。

姉と兄は飛び切りの優等生で何時も通信簿はオール5、私のは金魚の泡みたいねといつも母にからかわれた。何より大事なのは友達、人様の良いところを見なさいが教えでした。

閑話休題1・・後日 社会人となりグレースの品川製作所に飛び込み訪問して取引依頼。

偶々社長がいらして歓待された。お土産にアームを頂いた。

アンプは42s、6V6s、6V6pp、2A3s等作る。プリアンプは12AX7 ×2を作るがハム退治が上手く行かなかった。



閑話休題2・8PW1で低音不足を感じ、レコ芸(今年7月を最後に廃刊)の執筆者「青木周三」さんに手紙を出したところ、マルチダクトにしろと 図面いりの達筆なお手紙を頂いた。後に同氏は気骨ある高名なるオーディオ評論家でメーカー提灯持ちとは無縁であったと知る。

SPの変遷は PE8B→PE8→ゲンコツ8PW1→ナショナル10L1ウーハ+コーラルHJ220ツイーターへ。

EVホーンを隣の大工さんに作って貰う。重低音は無理だが朗々たる音でした。

親戚から映画館を壊すからと使っていた大型密閉BOX & SP(フィールド型)を頂きSPは2系統になる。

コンデンサーSP ツイーターも作った。振動版はピースの銀紙、筆箱にセット。チリチリと鳴るが実用に至らず。

FMチューナーはトリオのFM100。高域の伸びが素晴らしい音だった。但し時間が立つとチューニングがずれていく、忙しいこと。

高校も放送部。

仲間に同級生のO君、頑張り屋で夜間、蒲田にあった中央工学院(電気学校)に通っていた。油絵を描き、山登りも大好き。八ヶ岳主峰赤岳に後日共に登った。高3では生徒会長に。快男児でしたが、どうにも消息不明のまま。

一年下のA君、後日写真家になり、雑誌「太陽」他にシリーズを掲載。写真集は今でも高い評価を得ている。文化祭でジュークボックスを作るぞ。なに・大型段ボールで箱を作り、部員がプレーヤーを持って入る。希望曲カードを入れると中でかける。笑いを呼んだ。

閑話休題3・S50年頃、A君の名前を発見。雑誌に2回にわたり著名な江川三郎さんの指導で作成したアナログプレーヤー(ガラスのターンテーブル)他300Bアンプ・RCAピン無しで全て半田付け、使用中のSTAXコンデンサーSP&コンデンサーカートリッジ。

写真はまさしく彼。早速電話して30年ぶりに再会。江川さん宅は近くで良く行き来しているからと電話。生憎この日は江川さん不在。松尾和子のマイクは声に会わぬと替えさせたとか、お酒は振って飲むべし・講社新書著作の話、音談義を美味い焼酎で。天からの啓示の如きバルトークは今も記憶している。惜しくも病を得て早世してしまった。

文化祭ではレコードコンサート。曲はいつもリクエスト1番の 運命、未完成、新世界。

マーラー1番巨人バーンスタインのリクエストがあったが初めて聞く名前で???

解説は恥ずかしげも無く私が担当・・・

浪人 (S34~S35)

一年目 一浪は当たり前だったこの頃毎日曜は小中高の仲間二〇名近くが早朝集まる。

ごく近くにあった女子高のグラウンドで野球 or ソフトボール。場所取りは早い者勝ち。

野球部のOB 猛者が半分もいて高レベル。私は何時も守備セカンド or ライト・打球が来ないから・・・

打っては大事な試合には「振るな・フォアボール狙いでいけ」

下手な横好き。チーム名は「ローニンズ」慶応ユニフォームをまねて作りRONINZUと入れた。

横浜市の大会に参加、なんと可成り勝ち上がって話題となり神奈川新聞に載った。

“ローニンズ 旋風を巻き起こす！！”

今や仲間の四分の一が泉下に。

オーディオも音楽も相変わらず。深夜「運命」の第三楽章から第四楽章に移るとき庭の愛犬ポビー君が必ずウーンとうなり声をあげる。母が飛んでくる・今何時だと思っているの！！

二年目 二~三名を残し志望校へ。ローニンズも解散。私は失敗。これはいかんと気合を

いれ進学に専念する。一名は三浪後医大へ。今も市内で小児科医を開業。

音楽オーディオ仲間で当時からコンデンサーピックアップを使用。彼と当時内幸町にあったNHKホールで初めてシンフォニーを聴いた。指揮ローゼンストック。高揚すると白い頬が真っ赤になり凄い迫力と美しい音に圧倒された。

大学(S36～S40) 近所のおじさん(友人の父)が無類の山好きで近所の子供を集めハイキング・キャンプに連れて行ってくれた。地元で有名な方で新聞に数回紹介されていた。この影響で高い山に憧れていた。堰を切って山登りを始める。大菩薩峠、南アルプス鳳凰三山、甲斐駒(黒戸尾根)千丈ヶ岳、八ヶ岳・赤岳 北八ヶ岳 北アルプス表銀座 北アルプス西穂高～槍ヶ岳 一年間で可成り登った。しかし何時も仲間がいるとは限らず、本格的に登りたくなり、身の程知らずに体育会に入った。爾来四年間は山に没頭。絶えず緊張の四年間。7名の同期仲間は4名が物故。残念。

よく湿疹に悩まされたが卒業するといつの間にか消え失せた。相当なストレスと充実感の連鎖だったのだろう。オーディオ・音楽はお休み。

社会人(S40～H20)

とにかく預金を集めなさいの大本命で10年間は仕事に専心。4ヶ店目が徳島。S49年8月第1次オイルショックの終焉の頃。

夏の日 寝転がってラジカセを聴いていたら神韻たる凄い曲が流れていた。ブル8であり。初めて聴いた。音楽に心が震えたのは久しぶりの事。

商店街にオーディオショップ・オーディオ7があり早速覗いてみた。腹に響く素晴らしい音。血が騒いだ。元サンスイの技術者で昔谷川岳で岩をやっていたとか。自宅にいらっしやいと呼ばれた。流石美しい音、菅野沖彦さんが店にいらした折の揮毫があった。

ここでJBLD130+コンデンサーツイーター デンオン・プリメイン&DP3000ターンテーブル+サエクアーム+エラック445MMカートリッジ。オリジナルバスレフBOXを入手。

コンデンサーツイーターはエージングが要らず、初めから実に良く鳴った。

徳島には54年迄5年おき(33才～38才)ロッキード事件たけなわの頃。人気曲はUF0。毎週週末LPを買ってきた。始めはバッハなどから。なじみの店員さんからそろそろマーラー、ブルックナーに進んだら?と言われこれが主流になる。相変わらず優秀録音優先でショルティが多くなった。

別のレコード屋は前オーディオ店だが オーディオ7に負けてレコード屋に。アンプ真空管211で長岡式バックロード(SP2発)を力強い音で鳴らす。仲良くなり転勤時はLPレコードを整理して荷作りしてくれた。

顧客の歯医者さんのJBL。社宅近くの文房具屋さん・仕切り壁をぶち抜きSPをセット。社宅の近くで毎週末チャイコフスキー1812をズドン、ズドンと鳴らしている。訪ねて聴かせて貰う。地元の徳島銀行員でオートグラフが鎮座していた。立派な部屋と音で音談義。

オーディオ仲間はいるものです。今どうしているだろうか?

なんと10回の転勤を繰り返して札幌から本部へ。もう転勤はないだろうと阪神淡路大震災に学び、自宅を建て替えた(1997/7・56歳)

日野オーディオの親父さんに相談して、大型バックロード(JBL4530タイプ)を入手。SPIはD130+蜂の巣+2405と徳島以来もの。

当初はネットワークでアンプはアキュフェーズC200+P20。

AAFC入会1998年9月

第2回オーディオコンサート参加後即入会

同期入会は宇多さん、今田さん、照井さん・・・退会后残念ながら死去。

入会后グレードアップ様々。全て会員のお世話に。

1. ベルテック／ プリアンプ&ラインケーブル&SPケーブル

2. ベーリンガー／マルチアンプ

SPは不変。2A3S+300Bpp モノ×2+マッキンMC2500

3. ダイナベクターによる音場感補正。

4. 藤井会員によるバイタルSPケーブル

5. PCオーディオ+フィデリックス式高域補正

6. 山本さんには 並々ならぬお世話になった。正に男子3日会わざれば刮目して見よ。というべきで常に良い音を目指す気概には頭が下がる。耳が良く数えきれぬアドバイスを頂いた。会の運営には玉手箱の如く次々企画を立て、果敢に実行 全てが氏の発案。

分科会、見学会、オーディオ喫茶巡り、オーディオ旅行、元気会 etc. 正に中興の祖。

聴いている音楽ジャンルは会員のお陰で実に幅広く且つ、少し深くなった。

20回近いライブコンサートで演奏家と直接お話が出来たのも得難い経験。

AAFCには創立 3 年目の入会。当時はTVで田原総一郎の「朝まで生テレビ」が人気。

我々も「朝までオーディオ」をやろうかと、一時真剣に検討したこともあり体力・気力充分であった。並行して家内と日本 100 名山に挑戦していたが、88 座目の越後駒で頓挫(73 歳)

流石に創立当時の会員は我を含み老齢化して世代交代もう待たなし。

幸い最近は新規会員が着実に増えている。コロナに果敢に立ち向かった 新しい理事・会員の企画力・実行力・情熱の賜物。

集まり散じて人は変われど 我乗る船(AAFC)は常に変わらじ

何しろ 当会は 益者三友 直 諒 多門 の方の集まりですから。

創立者井上さんの夢は続きます。

終わり



昭和42年5月鳥海山 山スキー



我孫子オーディオファンクラブ <http://www.aafc.jp/> 2023年 9月号

編集責任者 大久保貴枝子 / 監修 鈴木道郎